

第 20 回大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会 議事要旨

1 開催日 令和 6 年 3 月 14 日（木） 10：01～11：26

2 場 所 ウェブ会議により実施

3 出席者

(外部有識者)

岩井 政人（此花区地域振興会 会長）

上野 仁（摂南大学 特任教授）

杉本 久未子（元大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科 特任教授）

中地 重晴（熊本学園大学 教授）

水谷 聡（大阪公立大学大学院 工学研究科 准教授）

(環境省)

松田 尚之 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長

切川 卓也 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長補佐

山根 正慎 近畿地方環境事務所 資源循環課 課長

中野 克子 近畿地方環境事務所 資源循環課 PCB 処理対策専門官

(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)

足立 晃一 PCB 処理事業部長

相澤 寛史 PCB 処理事業部長（特命業務担当）

横井 三知貴 PCB 処理事業部次長 兼 事業企画課長

安井 仁司 大阪 PCB 処理事業所 所長

中野 哲也 大阪 PCB 処理事業所 副所長

河野 清 大阪 PCB 処理事業所 運転管理課長

有門 貴 大阪 PCB 処理事業所 安全対策課長

桑原 昇 大阪 PCB 処理事業所 営業課長

(大阪市環境局)

松井環境管理部長、谷野産業廃棄物規制担当課長、大橋産業廃棄物規制担当課長代理

(部会構成員)

別紙「第 20 回大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会出席者名簿」参照

4 議 題

① 大阪 PCB 廃棄物処理事業の進捗について

- ② 令和5年度 環境モニタリング調査について
- ③ 今後のPCB監視部会及び環境モニタリング調査について
- ④ その他

5 議事要旨

①中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）から大阪PCB廃棄物処理事業の操業状況について(資料1-1)により説明があり、次の意見等があった。

〈意見等の概要〉

(外部有識者) 2点あります。

最初に、処理が全て完了したということは喜ばしいことということで感想を述べさせていただきます。

2点質問したいのですが、1点目は22ページの作業環境測定の結果で、大型解体室のダイオキシンが、処理が大分、処理量自体、作業自体が減っているにもかかわらず、令和4年度よりも令和5年度のほうが数字が大きいです。結構、冬場、12月の測定でも数字が低くならなかったのはどうしてなのかということが1点。

あと、29ページの水素ガス圧縮機ドレン分離器の発火の件なんですけれども、対策として、保温材を撤去してカバーをつけたということなんですけど、別に保温材を撤去しても操業には、水素ガスの循環運転には影響しないのかどうかということについて教えてほしいというのと、あと、消防署に通報して消防車も来たということなんですけれども、周辺住民とか自治会への連絡とか、そういうことがされたのかどうかということをお聞かせください。

(JESCO) まず、1点目の御質問、22ページの作業環境測定結果のところでございます。大型解体室が、今年度、粉じん・ガスで19pg-TEQ/m³ということございまして、1年前が11pg-TEQ/m³、夏、半年前でも20pg-TEQ/m³というところございまして。

こちらでございますけれども、大型解体室でのトランス類の処理は令和4年の段階で終わっておりますけれども、実は、多量保管事業者様の油を入れてきたドラム缶等々で、抜いた後のドラム缶の処理などもこの部屋で行っております、高濃度のPCB廃棄物の取扱いとしては、大型解体室での取扱いは減ってなかったというところがございます。そういった状況で、あまり下がらなかったというところかと考えてございます。

続きまして、29ページの水素ガス圧縮機のところでの発火事象でございます。保温材のところをパンチングメタルのカバーに変えたというところでございますが、もともと、この保温材でございますけれども、作業員の方が触れてやけどをしないようにということが主

目的で取付けていたというところでもございましたので、こちらのパンチングメタルでカバーすることで、ハンディのガス検知器での検知がしやすいのではないかと考えた次第でございます。

地元住民、周辺の方への御説明が抜けておりました。申し訳ございません。発生いたしました当日に、近隣の方に、消火して、鎮火した後になりますけれども、状況については直接御説明に伺っておりますし、町会の方につきましても、翌日でしたか、御説明に伺ったというところでもございます。

(外部有識者) まず、北九州事業エリアを含めまして、2月末までに100%処理できたということで、何よりかと思っております。

ちょっと細かい話なんですけど、2点ほど教えていただきたいんですが、まず、9ページの営業活動のところの(2)計画的処理完了期限以降の登録状況です。ちょっと細かく見ていると、滋賀県の令和5年度4月から2月のところで保管者数が1つあるんですが、実際、トランス、コンデンサの登録がないようにも見えるので、これは、要は登録はしたけども、トランス、コンデンサの実際の登録はしなかったのかどうか、その辺を教えていただければと思います。

それと、もう1点ですけども、23ページの従業者の健康管理なんですけど、たしか1人だけ、以前から、脂質当たりのダイオキシン濃度の高い方がいらっしゃいましたけど、これ、お1人だったんですか。この方はずっとこう高いまま、それとも複数人いたのか、ちょっと覚えていないんですけど、ずっと高いままなのか、その辺を教えていただければと思います。

(JESCO) 1点目の9ページの表-8のところ、滋賀県のところ、保管者さんが1者あるけども、トランスもコンデンサもゼロのところについてですが、誠に申し訳ございません。この表にPCBの油、廃PCB等を入れておりませんで、ここの滋賀県の保管者は、廃PCB油の登録者と考えてございまして、申し訳ございません

もう1点が、23ページの作業従事者の方の健康管理での血中ダイオキシン類濃度というところでもございますけども、昨年12月の測定結果では最大が31pg-TEQ/lipidということで十分低くなってございまして、この方が以前高かったというところでもございます。同じ方です。

(外部有識者) 少し難癖になるかもしれないんですが、トラブルが3つありましたよね。このことについて、具体的な事象というのはよく説明されているんですけども、このような事象が起きるといのは、実際に作業が今までのものと変わってきたり、少し違った形で実施せねばならなくなっている。なので、1回ずつそれについてマニュアルを更新し

ていくというふうな感じで考えてられるのか、それ全体を何か、より予測を持つような形で従業員を教育するのか、その辺を、すごく難しい問題だと思うんですが、どう考えておられるのかをひとつ教えてください。

もう1つは、前回見学に行かせてもらって、すごく勉強になったんですが、実際に解体作業などが始まっていく過程においても見学を続けられる御予定なのかどうか。特に万博が始まった場合、外国人なんかの見学が予測されるとしたら、それをどう対応されるのか、その辺のお考えをお伺いしたいと思います。

(JESCO) この間、3件のトラブルを発生させまして、御心配、御懸念をさせまして申し訳ございませんでした。それぞれトラブルにつきましては、原因究明をしっかりと進めまして、それぞれの対策を取っているというところがございますけれども、1つ、2件目に発生いたしましたトラブルについては、少し危険予知が十分ではなかったというところもございましたので、実は、安全教育として32ページに取りまとめて御報告しておりますけれども、ちょっとこの中で抜けておるんですが、1月に臨時の安全教育ということも別途実施をさせていただきます、しっかり、今後の解体撤去に向けても安全第一で進めていくということで教育等はさせていただいたというところがございます。

2つ目は、視察・見学等でございますけれども、解体撤去の段階になりましても、当面は準備作業等々というところがございます、安全に御見学いただけるところが保てる間は、御見学等も受け入れてまいりたいと考えてございます。

(外部有識者) ありがとうございます。ただ、前回行ったときに、解体撤去をどんなふうにするかというイメージがつかめなかったのも、ちょっと残念でしたので、その辺りの安全性も分かるような見学をさせていただければありがたいと思います。

②中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）から令和5年度の解体撤去の準備について（資料1-2）により説明があり、次の意見等があった。

〈意見等の概要〉

(外部有識者) 解体作業が進んでいるということについては了解したんですけれども、撤去、解体ですので、撤去したものは廃棄物として、あるいは有価物として払出しされるんですけれども、その量とかについては資料の1-1にあった、廃棄物や有価物の払出しとは別途分けて計量されるというか、表にまとめてもらわないと、話がややこしくなるんじゃないかなと思うので、今後工夫してくださいということです。

(J E S C O) 御意見どうもありがとうございます。確かに解体撤去で発生いたします廃棄物については、別途また、次回以降取りまとめまして、御報告、御説明させていただきたいと思っております。どうもありがとうございます。

③中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「J E S C O」という。）から大阪 PCB 処理事業所の長期保全の取り組みについて（資料 1－3）により説明があり意見等はなかった。

④本市から令和 5 年度 環境モニタリング調査について（資料 2）により説明を行い意見等はなかった。

⑤本市から令和 6 年度以降の部会の開催及び環境モニタリング調査の実施について（資料 3）により説明を行い意見等はなかった。

6 会議資料

資料 1－1 大阪 PCB 廃棄物処理事業の操業状況について

資料 1－2 令和 5 年度の解体撤去の準備について

資料 1－3 大阪 PCB 処理事業所の長期保全の取り組みについて

資料 2 令和 5 年度 環境モニタリング調査について

資料 3 令和 6 年度以降の部会の開催及び環境モニタリング調査の実施について

第20回大阪PCB廃棄物処理事業監視部会出席者名簿

府県市名	所 属	職 名	氏 名
滋賀県	琵琶湖環境部循環社会推進課	主 査	高取 惇哉
大津市	環境部産業廃棄物対策課	主 任	川上 貴大
京都府	総合政策環境部循環型社会推進課	主 任	高井 知幸
京都市	環境政策局循環型社会推進部廃棄物指導課	担当係長	年岡 慶悟
		係 員	藤 井 元
大阪府	環境農林水産部循環型社会推進室 産業廃棄物指導課	課 長	谷垣 文規
		主 査	中村 美智代
堺市	環境局環境保全部環境対策課	排出事業者係長	吉田 昌平
東大阪市	環境部産業廃棄物対策課	課 長	岡本 新吾
		統括主幹	吉原 吉紀
高槻市	市民生活環境部資源循環推進課	主 査	中野 悠
豊中市	環境部環境指導課	課 長	小坂 浩文
		係 長	五藤 昌太
枚方市	環境部環境指導課	課 長	中尾 謙一
八尾市	環境部循環型社会推進課産業廃棄物指導室	室 長	松本 純
寝屋川市	環境部環境保全課	一 般 職	白石 祐菜
吹田市	環境部環境保全指導課	産業廃棄物指導長	石川 一宙
		主 査	田原 舞
兵庫県	環境部環境整備課	職 員	野里 久幸
神戸市	環境局環境保全課 民間施設担当	課 長	森本 隆夫
		係 長	小西 宏和
姫路市	環境局美化部産業廃棄物対策課	係 長	藤花 豊
		技術主任	松本 直之
尼崎市	経済環境局環境部産業廃棄物対策担当	課 長	北村 雅樹
		係 長	岩佐 雅彦
西宮市	環境局環境事業部事業系廃棄物対策課	課 長	畑 文隆
明石市	市民生活局環境室産業廃棄物対策課	担当課長兼係長	中川 優
		技術職員	松盛 聖子
奈良県	水資源・森林・景観環境部廃棄物対策課	主 査	木内 智樹
奈良市	環境部廃棄物対策課	主 事	藤脇 大成
和歌山県	環境生活部環境政策局循環型社会推進課	主 事	下谷 健弘
大阪市 (事務局)	環境局環境管理部環境管理課 産業廃棄物規制担当	部 長	松井 年徳
		課 長	谷野 寛
		課長代理	大橋 昭夫
		係 長	小檜山 雄
		係 員	中島 誠隆